

【看護福祉リハビリテーション学部 看護学科】カリキュラムマップ(2024年度入学生用)

学年	科目名	科目的主題	科目的開拓目標	ディプロマポリシーの項目番号														
				O:DPO達成のために設定された開拓目標と難易度がある ※1つの開拓目標に対して最大15個まで														
				DPI	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
女性と健康		自分自身の性である「女性」を受け入れ、より健康に生活するために、1)グローバル社会における女性の健康—なぜ女性が健康でいなければならぬか、2)性の多様性による性別による性差—なぜ女性は男性と異なるか、3)女性の月経困難症や冷えの予防と対処法、4)女性特有の身体症状に対するセルフケア—月経困難症や冷えの予防と対処法、など「健康」を理解していく。	1. 国内外の女性の現状を通して、グローバル社会における女性の健康について考察する意識を理解している	○										○				○
			2. 性の多様化の最新トピックを通して、性とジェンダーについて理解している	○						○	○							○
			3. 女性的なライフスタイルや特有の身体症状について理解し、自分の健康として捉える	○						○								○
中医学の基礎		中医学アカデミーは、人間生命が本来持っている自然治癒力を重視し、自然との和むことによる健康を守る。この講義は、西洋医学と異なる視点で人間の病気生理を理解し、自然の生命を一元化する中医学思想及び人徳と自然とのトネル機能をきたすツボや經絡循環の運送による自然治癒力(气血の充足と經絡循環の流畅)と自然療養の時間療養法を理解することができます。	1. 中医学の自然生命に対するホリスティックな考え方や人の生活と自然変化の関係性を理解することができる	○	○												○	
			2. 価値を実現する「地域的環境に因応するもの」「本人の体質に因応するもの」「季節感・季節差に因応するもの」という象徴的要素を理解することができる。	○	○													○
			3. 人間の健康を保つために、基本的な自然治癒力(气血の充足と經絡循環の流畅)と自然療養の時間療養法を理解することができる。	○	○													○
専門職の連携(応用)		他職種との連携活動の実際を学習する専門職連携に関する実習を行なうことで、専門職の専門職として働く職種とのつながりを学ぶ。	1. 他職種間での専門的かつ高次のコミュニケーションをつかれるようになる			○								○		○		
			2. 実例を取り上げることで、より具体的で実践的な援助方法を理解する			○										○		○
			3. 専門職としての自己意識を高め、資格取得に向けての意欲向上を目指す			○									○		○	
包括的ヘルスケア論		少子高齢化進展のなかで、乳幼児期から高齢期の健康に関する理解を深め、医療費を軽減・医療費を増やすための医業者および在宅生活者に対する保健・医療・福祉施策の動向を学ぶ	1. 我が国の少子高齢化による問題を理解する	○	○	○										○	○	○
			2. 地域包括ケアの理論と制度を学ぶ		○	○										○	○	○
			3. 地域包括ケアの実際を学ぶ		○									○		○		
看護学原論		専門的なヘルスサービスとしての看護について、その領域と境界および看護実践の特徴を学ぶ	1. 看護の目次では看護の意味するもの、諸説看護論の特徴を理解している													○	○	○
			2. 看護の対象では健康と関連づけながら人間について理解している												○	○	○	
			3. 看護の機会と役割では実践活動での看護過程・技術を理解している												○	○	○	
看護コミュニケーション		看護におけるコミュニケーションについて、概念や主要な理論、基本的実践法、看護実践上に必要な具体的な活用・条約的態度について学ぶ。	1. コミュニケーションの概念と主要な理論を理解する	○	○													○
			2. 基本的コミュニケーションの技法を理解する		○									○		○		
			3. コミュニケーション技法の看護における応用を理解する		○									○		○		
日常生活を支える看護技術 I		看護技術の習得および、技術修得過程の構造の意識化をはかり、技術修得能力を学ぶ	1. 看護実践の技術を抽象化してとり出した共通基本技術を理解している		○													○
			2. 日常生活行動を維持・発揮するために必要な看護技術を理解している		○													○
			3. 看護技術修得過程の構造の意識化・技術修得能力を理解している		○												○	
日常生活を支える看護技術 II		看護技術および共通基本技術の習得、技術修得過程の構造の意識化をはかり、技術修得能力を学ぶ	1. 自分自身が患者・看護師となり、共通する共通基本技術を習得している		○													○
			2. 日常生活行動を維持・発揮するために必要な看護技術を修得している		○													○
			3. 看護場面の自己・他者評価を通して自己評価能力を向上している		○													○
治療・診断過程に伴う看護技術		対象者に行われる病気の診断・治療過程に伴う看護技術について理解し、習得する	1. 健康障害の経過における対象者の状況を理解している	○	○	○												
			2. 対象者の主たる治療法と看護援助技術について理解している		○													
			3. 最新の医療内容(検査・観察・治療など)とその安全な方法について理解している		○	○												
看護過程論演習		模擬事例を活用し、対象の看護の必要性を認識し、対象に必要な看護と系統的に計画・実施評価する思考の筋道を理清し、その能力を修得する	1. 情報を科学的に分析し、対象の看護上の問題を抽出できる	○	○													○
			2. 対象の日常生活における問題の、解決方法を計画できる		○													○
			3. 看護過程の思考の筋道が理解できる(事例の問題抽出から計画立案)		○													○
フィジカルアセスメント概論		看護を科学的・理論的に実践する方法としてのフィジカルアセスメントの概念や看護者からの身体情報をどのように把握するか、同時に、健診問題を特定する思考の筋道を理清し、その能力を修得する	1. 看護におけるフィジカルアセスメントの意味と目的と医療におけるフィジカルアセスメントの違いを理解することができる		○											○	○	
			2. 解剖学的な専門知識とフィジカルアセスメントに生かし方が分かる		○											○	○	
			3. 患者を人間という統合体としてアセスメントする必要性を理解することができる		○											○	○	
フィジカルアセスメント演習		看護におけるフィジカルアセスメントの意味と目的を理解し、解剖学など専門知識に根柢付けられた診査技術を習得する	1. フィジカルアセスメントにおけるフィジカルアセスメントの位置と目的を理解している		○											○	○	
			2. 問診、触診、聴診、バイタルサインなどフィジカルアセスメントの基本的な診査技術ができる		○											○	○	
			3. 得られた情報の適切な判断、評価、看護援助への活用ができる		○											○	○	
仏教看護 I		仏教看護の意味とその本質、位置づけ、主要概念、方法論について学ぶ	1. 佛教看護の概念を理解している	○										○		○		
			2. 人間の「生老病死」の局面を看護上の概念として理解している	○	○	○												
			3. 佛教看護の概念にもとづいた看護サービスを理解している		○									○		○		
仏教看護 II		仏教看護の可否は、仏教看護精神の基本教義、佛教看護における人間關係、仏教看護と醫護過程、人間の「生」または看護の実際、人間の「死」と仏教看護の実際などについて習得する	1. 医療・看護の場面における仏教看護の理論が理解できる		○	○												
			2. 仏教看護の実践可能性、看護実践が理解できる											○		○		
			3. 「生老病死」の理念を仏教看護を通して看護過程で実践できる											○		○		
看護倫理 I		医療における看護実践の基盤である倫理觀、倫理的判断や倫理の認定、倫理的原則に基づいた行為の基準について学び、倫理に基づいた看護実践のための基礎的能力を身につける	1. 看護実践における倫理觀、倫理的判断、倫理的原則に基づく対応の基本が理解できる		○											○	○	
			2. 看護倫理に裏打ちされた看護を実践するための基礎的能力が理解できる		○											○	○	
			3. 患者を尊重する態度や看護学生としての責任を臨地実習に生かす事ができる											○		○		
看護倫理 II		看護倫理 I で学び慣れた倫理的原則に基づいた判断、医療行為について理解した上で、これまでの臨地実習での体験をもとに、複雑な現実問題に取り組む際必要な倫理的基づいた看護実践とは何かを考察し、今後の行動に向け指針を得る	1. 臨地実習で体験し自ら思考し行動したことを振り返り、看護倫理の在り方を考察できる													○	○	○
			2. 実習体験との関連づけやクラスメンバーとの学びの共有を通して、倫理に基づいた看護実践の態度について考察できる													○	○	○
			3. 看護倫理の倫理綱領本文16条(日本看護協会)を事例から問題点を抽出できる													○	○	○
母性看護学概論		女性の性と生殖をリプロダクティブヘルス／ライツの視点から学ぶ。女性のライフステージにおける発達課題と健康について理解する	1. リプロダクティブヘルス／ライツを理解し、女性の性と生殖についての権利を考覈できる		○									○		○		
			2. 女性とその家族のライフステージにおける発達課題について理解している		○										○		○	
			3. 母子保健に関する法律や制度を知り、母子に関する社会的課題について考察できる		○									○		○		
小児看護学概論		小児の成長・発達の理解及び小児保健の動向を学ぶ。小児医療における子どもの権利について学ぶ	1. 小児看護実践のための子どもの成長、発達について理解している		○	○												
			2. 小児医療と子どもの権利の関連を理解している											○		○	○	
			3. 現代社会に生きる子どもと家族の健康問題を理解している		○									○				
成人看護学概論		成人期の健康問題への理解を深め、病の軌跡やストレス理論などから看護支援の在り方を学ぶ	1. 成人期の健康問題の特性を理解している															
			2. 成人看護で必要な看護理論を理解している		○	○												
			3. 成人期の健康問題やストレスへの看護的支援が理解できている		○													
老年看護学概論		高齢者を身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな側面から全人的に捉え、加齢現象と健康問題に対する支援について学ぶ	1. 高齢者を身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな側面から全人に捉えることができる		○	○								○				
			2. 高齢者を取り巻く倫理的課題について理解できる		○									○		○		
			3. 高齢者の加齢現象や健康問題について理解し、その予防や治療・看護について理解できる		○									○		○		
精神看護学概論		精神看護学の概念および精神障害者の社会的背景について理解を深め、人間の成長発達の過程や社会状況の中での生じる危機への対応について学ぶ。	1. 精神看護学における健康の概念と対象となる幅広い人々について理解できる		○											○		
			2. 良い経験と医学モデルによる疾患といふ2つの側面から精神障害が理解できる		○									○		○		
			3. 日本における精神疾患及び障がいとの治療の歴史的な流れを理解できる。		○									○		○		

学年目	科目の主題	科目の開設目標	ディプロマポリシーの項目番号													
			O:DP達成のために必要な知識と関連性がある 全ての選択目標に則して最大の価値													
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14
在宅看護概論	患者とその家族が、人としての尊厳、健康で安全に生きるという自分の家の生活の基本)を実現するための看護の支援を学ぶ。	1. 人間の尊厳を守ることを理解している 2. 病患者とその家族の健康と安全を理解している 3. 運営と在宅支援について理解している								○ ○		○				
		1. 地域看護の考え方と主要な理論を理解している 2. 地域看護活動の対象と場、方法を理解している 3. 地域看護の継続性と包括性を理解している	○								○ ○					○
		1. 周産期の母児/子の特徴と正常経過を理解している 2. 健康診査を始めとした母子支援の意義と実際を理解している 3. ハイリスク妊娠について理解している	○										○ ○			
母性看護実践論	周産期の母児/子および家族の身体的・精神的・社会的特徴について学ぶ。また、対象者のセルフケア能力を高めるための保健指導の意義と学ぶ。	1. 周産期に必要な看護技術を科学的根拠をもって安全に実施できる 2. 健康診査を始めとした母子支援の意義と実際を理解している 3. ハイリスク妊娠について理解している	○										○ ○			
		1. 周産期に必要な看護技術を科学的根拠をもって安全に実施できる 2. 周産期に必要な健康管理の方法を理解している 3. 周産期における母子相互関係について理解している	○										○ ○			○
		1. 子どもの入院・病気の子どもとその家族に及ぼす影響を理解している 2. 小児の健康レベルに応じたアセスメント技術を理解している 3. さまざまな場面における子どもとの家族への看護援助の視点を理解している	○ ○											○		
小児看護実践論	子どもの権利や発達的視点を踏まえ、健康障害のある子どもと家族への看護を展開する基礎的知識を学ぶ	1. 教育など他職種との協働・連携における小児看護の役割について理解している 2. 子どもに必要な看護技術を選び、発達の段階とともに小児看護の実際を理解している 3. 事例展開を通して、小児看護における知識を統合する力が身についている	○								○ ○					○
		1. あらゆる健康段階に異なる対象の特徴と看護の役割を理解している 2. 健康障害の種類と特徴を理解し疾患の治療・検査の方法と看護を理解している 3. 回復過程に合わせた個別性のある看護援助の方法を理解している	○ ○													○
		1. あらゆる健康段階に応じた看護技術の方法と成人期に応じた対象への看護過程の方法について学ぶ	○													
成人看護実践論	あらゆる健康段階、健康障害を持つ成人群の対象に必要な看護について学ぶ	1. あらゆる健康段階に応じた看護技術の方法と成人期に応じた対象への看護過程の方法について学ぶ	○													○
		2. 成人看護に必要な看護技術を習得する	○										○ ○			
		3. 事例展開を通して成人期に応じた看護過程の方法を習得する	○										○			
老年看護実践論	高齢期特有の疾患や生活機能障害について学び、高齢者の個別性とQOLに配慮し、科学的根拠に基づいた看護支援を理解する	1. 高齢特有の疾患や生活機能障害について学ぶ 2. 老年期の看護過程の特徴やアセスメントの目的・特徴が理解できる 3. 老年期の看護過程について理解する	○										○ ○			○
		1. 各種看護や要介護状態にある高齢者への看護実践について理解できる 2. 老年看護の実践に必要な援助技術を修得する	○										○ ○			
		3. 事例展開を通して高齢者に対する看護過程の方法を修得する	○										○			
老年看護演習	老年看護に必要な技術を学び、実践能力および看護過程の方法を修得する	1. 各種看護や要介護状態にある高齢者への看護実践について理解できる 2. 老年看護の実践に必要な援助技術を修得する 3. 事例展開を通して高齢者に対する看護過程の方法を修得する	○										○ ○			○
		1. 精神看護の基礎的知識や技術を理解している 2. 精神障がいをもつ人に対する基本的な援助方法および精神利用ハビリテーション活動、精神医療保健福祉の進歩と支援手法を学ぶ	○										○ ○			
		3. 精神障がいをもつ人の身体的・心理的アセスメントの目的・特徴が理解している	○										○ ○			
精神看護実践論	様々な状況にある対象者の精神状態の把握とアプローチ法に関する基礎的な知識を学び、身体、精神、精神面の総合を学ぶ	1. 精神障がいをもつ人の身体的・心理的アセスメント能力を習得している 2. 精神障がいをもつ人に対する基本的な援助方法を理解している 3. 心の不健康・病気のとき、看護職として支援方法を理解している	○										○ ○			○
		1. 在宅において看護実践を必要とする人の看護の実践について理解している 2. 在宅における看取りや災害看護について理解している 3. 在宅サービス利用に関する介護保険、医療保険等の社会保険について学ぶ	○										○ ○			○
		1. 事例を通じて高齢者への看護実践について理解できる 2. 訪問看護における看護過程の展開方法と看護の役割を理解している 3. 在宅での訪問看護提供時のマナーについて理解できる	○										○ ○			○
在宅看護演習	在宅看護と身体への看護実践を支える援助技術、医療のかために必要な看護の実践を学ぶ。訪問看護を中心とした在宅サービスの利用に関する、介護保険、医療保険等の社会保険について学ぶ	1. 線維ケアが必要な患者・家族の身体的・心理的状況を理解する 2. ターミナル期にある患者に仏教が提供しているヒバラケアについて理解している 3. 仏教慈悲心に基づいた終末期看護実践について理解する	○ ○										○ ○			○
		1. 医療安全の基本的な考え方と看護の役割について理解している 2. リスクマネジメントの方法について理解している 3. 感染に対する危機と予防策を理解している	○										○ ○			
		1. 疾患の方法と基本的な考え方を学び、公衆衛生看護学における特定地域の疾患構造などのアセスメントおよび保健活動などの根拠に必要な知識を習得する	○										○ ○			○
保健統計学	保健医療従事者や研究者は個人の健康の維持・増進や公衆衛生サービスなど保健事業を実践するため、公衆衛生看護学における特定地域の疾患構造などのアセスメントおよび保健活動などの根拠に必要な知識を習得する	1. 既往歴、家族歴、検診結果など個人の健康状態に関する情報を用いた分析の考え方と方法を理解している 2. 集団及び個人のヘルスマネジメント等看護学の統合的な視点における看護活動としての保健知識を理解している 3. 保健医療従事者として基礎的な統計分析手法を理解している	○										○ ○			
		1. 学校教育の目的、内容、方法について理解している 2. 学校保健における保健事業の立案を理解している 3. 学校保健教育の展開方法や学校保健管理の実際を理解している	○											○		
		1. あらゆる職業に從事する人々の労働衛生対策や根拠となる労働基準法、労働安全衛生法などの制度を理解している 2. 産業衛生の多様化、積載産業の発展に伴う健康被害や化学物質等有害物質に対する労働衛生対策、メタルヘルス対策などを企業保健の現代的課題について考察する	○											○ ○		
産業保健	歴史的に取り組まれてきた産業保健から労働と健康の関係、職場に起因する疾病などについて学ぶ	1. 看護職が行う健康教育の目的・意義が理解できる 2. グループの特性、及びグループ活動の意義と支援者の役割が理解できる 3. 保健師が地区活動として行う健康教育の企画・実施・評価の過程を習得する	○										○ ○			○
		1. 看護の目的・対象の理解・看護が機能する場を体験的に理解している 2. 医療を受けている対象への关心と理解を深めている 3. 援助の場の体験を通して、看護の方法や看護師の役割が理解できる	○ ○ ○										○ ○ ○			
		1. 基礎看護実践では、健康問題を解決するための看護活動を体験的に学ぶ	○ ○ ○										○ ○ ○			

学年	科目の主題	科目の開設目標	ディプロマポリシーの項目番号														
			O:DP達成のために必要な知識と関連性がある ※1つの選択目標に則して最大4個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
基礎看護実習Ⅱ	患者の健康状態の好転をめざし、看護実践能力と態度の習得をめざし学習する	1. 看護の対象の健闘レベルをアセメントできる 2. 看護対象の看護支援の方法を立案し実施できる 3. 看護対象の看護支援について評価できる											○	○	○	○	
		1. 看護対象者に適した方法で日常生活援助が提供できる 2. 看護対象者に適した方法でフィジカルアセメントができる 3. 提供した看護技術の評価ができる	○								○	○					
		1. 女性のライフサイクルにおける健康として捉えられる 2. 周産期における家族の再構築について理解できる 3. 妊娠および産褥・新生児期に対する母児・子の健康問題と支援について理解し実践できる	○								○	○					○
看護技術実習	基礎看護実習Ⅰ・Ⅱで実践した技術の定着を図ることを目的とし、基本的な看護技術の獲得及び実践力を向上を目指す。	1. 看護対象者に適した方法で日常生活援助が提供できる 2. 看護対象者に適した方法でフィジカルアセメントができる 3. 提供した看護技術の評価ができる	○	○		○			○				○			○	
		1. 女性のライフサイクルにおける健康として捉えられる 2. 周産期における家族の再構築について理解できる 3. 妊娠および産褥・新生児期に対する母児・子の健康問題と支援について理解し実践できる	○	○													○
		1. 子どもを発達主体として尊重しその子らしく生活できるように、また各健康レベルに必要な支援のための看護実践能力を養う 2. 保護者の知識・技術を充実して、個人別から社会へ統合的に理解し、健康状況に応じた看護が対象及び家族に実践できる能力を養う	○	○													○
慢性期看護実習	慢性期および末期にある対象に対する看護実践の方法を学習する。既存の知識・技術を充実して、個人別から社会へ統合的に理解し、健康状況に応じた看護が対象及び家族に実践できる能力を養う	1. 慢性期患者も含む発達レベルを考慮する患者の健康問題を捉え、セルフケア能力を高めるための援助を実践する 2. 慢性期にある患者の特性を理解し、その人らしい生活を営むための援助方法を理解できる 3. セルフマネジメントを促すための看護支援方法について理解できる	○	○												○	
		1. 手術前後の心身の状況の変化について回復過程を左右されることが想定している 2. 急性期にある対象のニーズと治療的・急性期状態にある患者の看護を展開できる 3. 対象の生命力を引き出し、回復を促進する実践的な看護援助の方法を理解できる	○	○												○	
		1. 高齢者との間わり方を理解する 2. 介護保険制度の特色や役割を理解し、看護実践について学ぶ 3. 老年看護における継続的学習能力を修得する	○	○												○	
老年看護実習Ⅰ	介護保険施設での高齢者の日常生活への援助やコミュニケーションなどを通じて、高齢者のQOLの保障や生活の場を整える看護実践を養う	1. 高齢者の歩行障害、加齢現象、健康障害、生活機能障害、おもひり理的・社会的・心理的・情緒的の変化を把握して支援することで、健常性上の問題を判断し、残存機能を活用した援助ができる能力を養う	○	○												○	
		1. 高齢者との援助人間関係の構築について学ぶ 2. 高齢者のQOLと個別性に配慮した看護過程を理解し実践する 3. 老年看護の学習者として、また未来の実践者としての姿勢を確立する	○	○													○
		1. ナレッジ・データーワーク・理論などを用いて対象者の理解を深め、必要な看護援助方法を把握する 2. 対象者及びその家族の心理・社会的免責課題を捉え、治療的な相互関係を構築できる 3. 対象者及びその家族が利用できる精神保健・医療・福祉に関する社会資源を考えることができる	○	○												○	
老年看護実習Ⅱ	生活の場で提供される在宅看護および在宅ケアの実際を学び、対象者および看護の特徴を把握し、在宅看護活動を実践する能力を養う	1. 併用薬の影響と副作用、加齢現象、健康障害、生活機能障害、おもひり理的・社会的・心理的・情緒的変化を把握して支援することで、健常性上の問題を判断し、残存機能を活用した援助ができる能力を養う	○	○												○	
		1. 高齢者との援助人間関係の構築について学ぶ 2. 高齢者のQOLと個別性に配慮した看護過程を理解し実践する 3. 老年看護の学習者として、また未来の実践者としての姿勢を確立する	○	○													○
		1. 家族の概念について理解する 2. 家族の構造・機能、家族の発達および家族看護に関する理論を理解し、家族看護の意義、目的および家族の看護過程について学ぶ 3. 家族看護におけるアセント・支援について理解する	○	○												○	
精神看護実習	精神疾患の治療および看護に向け、看護理論を用いて対象者の理所を深め実践する	1. 精神疾患の治療および看護に向け、看護理論を用いて対象者の理所を深め実践する	○	○												○	
		1. 精神疾患と家族の健康問題及び生活上の諸問題を察し、訪問看護過程の展開を把握する 2. 社会資源の活用や実際について理解し、関係機関、他職種と協働する中で看護の役割について実践する 3. 訪問看護マニュアルの役割と機能、運営の実際について蓄積する	○	○												○	
		1. 看護研究の意義と目的、進め方、分析方法など研究の概要を理解している 2. 研究テーマの設定、文献レビュー、倫理的配慮、計画書の作成、分析、考察の方針を理解している 3. 計画に沿ってデータ収集、分析、考察、論文作成が遂行できる	○	○												○	
在宅看護実習	生活の場で提供される在宅看護および在宅ケアの実際を学び、対象者および看護の特徴を把握し、在宅看護活動を実践する能力を養う	1. 家族の概念について理解する 2. 家族の構造・機能、家族の発達および家族看護等の家族看護に必要な理論を理解する 3. 家族看護におけるアセント・支援について理解する	○	○												○	
		1. 我が国の中医政策の動向と中医政策を理解している 2. 我が国の看護制度と看護教育制度を理解している 3. 看護政策における看護職の役割・機能について理解している	○	○												○	
		1. 看護研究の意義及び方法が理解できる 2. 研究テーマの設定、文献レビュー、倫理的配慮、計画書の作成、分析、考察の方針を理解している 3. 計画に沿ってデータ収集、分析、考察、論文作成が遂行できる	○	○												○	
研究方法論	看護研究の意義と目的、進め方、分析方法など研究の概要を基本的な方法を選び、文献研究、論文作成が実行できるように、研究テーマの設定、研究方法、研究に則する倫理を理解し、研究遂行を実践する	1. 家族の概念について理解する 2. 家族の構造・機能、家族の発達および家族看護等の家族看護に必要な理論を理解する 3. 家族看護におけるアセント・支援について理解する	○	○												○	
		1. 我が国の中医政策の動向と中医政策を理解している 2. 我が国の看護制度と看護教育制度を理解している 3. 看護政策における看護職の役割・機能について理解している	○	○												○	
		1. 最新の情報を理解できる 2. 看護専門職の機能や役割が発揮できるための看護管理者の役割を理解している 3. 保健・医療・福祉・地域連携体制と連携ケアの在り方、その中の看護の役割について理解している	○	○												○	
家族看護	家族の構成/機能、家族の発達および家族看護に関する理論を理解し、家族看護の意義、目的および家族の看護過程について学ぶ	1. 最新の情報を理解できる 2. 医療・福祉分野の課題を考えることができる 3. 適切な研究方法の選択及びデータ収集に取り組むことができる	○	○												○	
		1. 我が国の中医政策の動向と中医政策を理解している 2. 我が国の看護制度と看護教育制度を理解している 3. 看護政策における看護職の役割・機能について理解している	○	○												○	
		1. 看護の役割と機能を確認し看護学の全領域を総合的に把握できる 2. 病院別看護実践を通じ多職種との協働、マタシメント等について、その意義と重要性を認識できる 3. 看護の役割と機能を理解できる	○	○													○
看護実習	看護の対象に対して、各自で貰いやすいチート表や照れ隠しのアセント等を理解するうえで、対象者に対する看護の実践をめざし、看護実践能力と態度の習得をめざし学習する	1. マネジメント機能とその方法を学び理解している 2. 看護の役割と機能を確認し看護学の全領域を総合的に把握できる 3. 病院別看護実践を通じ多職種との協働、マタシメント等について、その意義と重要性を認識できる	○	○												○	
		1. 最新の情報を理解できる 2. 医療・福祉分野の課題を考えることができる 3. 適切な研究方法の選択及びデータ収集に取り組むことができる	○	○													○
		1. 看護の役割と機能を確認し看護学の全領域を総合的に把握できる 2. 病院別看護実践を通じ多職種との協働、マタシメント等について、その意義と重要性を認識できる 3. 看護の役割と機能を理解できる	○	○													○
看護政策学	看護職の活動の場が拡大し、活動対象者が多様化している中で、質の高い看護を提供するための看護づくりとしての看護政策を学ぶ	1. 看護の役割と機能を確認し看護学の全領域を総合的に把握できる 2. 病院別看護実践を通じ多職種との協働、マタシメント等について、その意義と重要性を認識できる 3. 看護の役割と機能を理解できる	○	○												○	
		1. 看護の役割と機能を確認し看護学の全領域を総合的に把握できる 2. 病院別看護実践を通じ多職種との協働、マタシメント等について、その意義と重要性を認識できる 3. 看護の役割と機能を理解できる	○	○													○
		1. 看護の役割と機能を確認し看護学の全領域を総合的に把握できる 2. 病院別看護実践を通じ多職種との協働、マタシメント等について、その意義と重要性を認識できる 3. 看護の役割と機能を理解できる	○	○													○
卒業ゼミ	看護学に関する新しい知識を見出す研究の意義と倫理的根柢、論理的構成、論述の要領等について理解し、研究テーマの選定、研究方法、研究方針に則して研究を実践する	1. 看護学の意義と目的、進め方、分析方法など研究の概要を理解している 2. 研究テーマの設定、文献レビュー、倫理的配慮、計画書の作成、分析、考察の方針を理解している 3. 計画に沿ってデータ収集、分析、考察、論文作成が遂行できる	○	○												○	
		1. 看護の役割と機能を確認し看護学の全領域を総合的に把握できる 2. 病院別看護実践を通じ多職種との協働、マタシメント等について、その意義と重要性を認識できる 3. 看護の役割と機能を理解できる	○	○													○
		1. 看護の役割と機能を確認し看護学の全領域を総合的に把握できる 2. 病院別看護実践を通じ多職種との協働、マタシメント等について、その意義と重要性を認識できる 3. 看護の役割と機能を理解できる	○	○													○
看護管理	看護の対象に対して、各自で貰いやすいチート表や照れ隠しのアセント等を理解するうえで、対象者に対する看護の実践をめざし、看護実践能力と態度の習得をめざし学習する	1. マネジメント機能とその方法を学び理解している 2. 看護の役割と機能を確認し看護学の全領域を総合的に把握できる 3. 病院別看護実践を通じ多職種との協働、マタシメント等について、その意義と重要性を認識できる	○	○												○	
		1. 最新の情報を理解できる 2. 医療・福祉分野の課題を考えることができる 3. 適切な研究方法の選択及びデータ収集に取り組むことができる	○	○													○
		1. 看護の役割と機能を確認し看護学の全領域を総合的に把握できる 2. 病院別看護実践を通じ多職種との協働、マタシメント等について、その意義と重要性を認識できる 3. 看護の役割と機能を理解できる	○	○													○
コンテンポラリーナーシング	医療の進歩や社会情勢の変化に対応できる能力を養うため、その時代の社会情勢に合わせて、最新の医療やケア、法令などのトピックスを学習する	1. 最新の情報を理解できる 2. 医療・福祉分野の課題を考えることができる 3. 医療・福祉分野への社会のニーズを考えることができる	○	○												○	
		1. 看護の役割と機能を確認し看護学の全領域を総合的に把握できる 2. 病院別看護実践を通じ多職種との協働、マタシメント等について、その意義と重要性を認識できる 3. 看護の役割と機能を理解できる	○	○													○
		1. 看護の役割と機能を確認し看護学の全領域を総合的に把握できる 2. 病院別看護実践を通じ多職種との協働、マタシメント等について、その意義と重要性を認識できる 3. 看護の役割と機能を理解できる	○	○													○
災害看護	災害支援活動を行うため必要な災害の定義、災害サイクルにおける各種の災害と被災者、人々の状況、災害時の被災者の状況等について、看護管理、危機管理、救命措置、多職種との連携等について個別的看護実践をめざし、その意義と重要性を学ぶ	1. 災害支援活動を行うため必要な災害の定義、災害サイクルにおける各種の災害と被災者、人々の状況、災害時の被災者の状況等について、看護管理、危機管理、救命措置、多職種との連携等について個別的看護実践をめざし、その意義と重要性を学ぶ	○	○												○	
		1. 看護の役割と機能を確認し看護学の全領域を総合的に把握できる 2. 災害支援活動を行うため必要な災害の定義、災害サイクルにおける各種の災害と被災者、人々の状況、災害時の被災者の状況等について、看護管理、危機管理、救命措置、多職種との連携等について個別的看護実践をめざし、その意義と重要性を学ぶ	○	○												○	
		1. 看護の役割と機能を確認し看護学の全領域を総合的に把握できる 2. 災害支援活動を行うため必要な災害の定義、災害サイクルにおける各種の災害と被災者、人々の状況、災害時の被災者の状況等について、看護管理、危機管理、救命措置、多職種との連携等について個別的看護実践をめざし、その意義と重要性を学ぶ	○	○												○	
統合看護実習	全容実習を終えた後、看護の役割と機能を改めて確認し、看護職としての看護の実践をめざし、看護実践能力と態度の習得をめざし学習する	1. 看護の役割と機能を改めて確認し、看護職としての看護の実践をめざし、看護実践能力と態度の習得をめざし学習する	○	○												○	
		1. 病院における母子保健・人保健・高齢者保健の理念と施設、保健活動の実際を理解している 2. 國際間における母子保健・人保健・高齢者保健の理念に基づいた看護支援が理解できる 3. 國際的課題に対し対応し、看護支援が理解できる	○	○												○	
		1. 病院における母子保健・人保健・高齢者保健の理念と施設、保健活動の実際を理解している 2. 國際間における母子保健・人保健・高齢者保健の理念に基づいた看護支援が理解できる 3. 國際的課題に対し対応し、看護支援が理解できる	○	○												○	
国際看護活動論	国際的な視点で看護学を捉え、看護援助の必要性を理解し、本学における看護教育を基礎とした、国際間における宗教、文化、生活、経済状況の差異を理解し、国内外における文化との人との共生を図り、必要な看護支援、倫理的・道徳的・精神的・社会的・政治的・文化的な問題等について、看護実践をめざし、その意義と重要性を学ぶ	1. 国際看護の概念が理解できる 2. 國際間の文化的差異に基づいた看護支援が理解できる 3. 國際的課題に対し対応し、看護支援が理解できる	○	○											○		
		1. 国際看護の概念が理解できる 2. 國際間の文化的差異に基づいた看護支援が理解できる 3. 國際的課題に対し対応し、看護支援が理解できる	○	○												○	
		1. 国際看護の概念が理解できる 2. 國際間の文化的差異に基づいた看護支援が理解できる 3. 國際的課題に対し対応し、看護支援が理解できる	○	○												○	
公衆衛生看護概論	地域を基盤として展開する公衆衛生看護の特性および公衆衛生看護管理の実際を学ぶ	1. 公衆衛生看護の理念や対象、展開方法を理解している 2. 人々の健康に影響する要因と今日の健康課題を理解している 3. 公衆衛生看護管理の目的・構造・機能を理解している	○	○												○	
		1. 地域における母子保健・人保健・高齢者保健の理念と施設、保健活動の実際を理解している 2. 地域における母子保健・人保健・高齢者保健の理念に基づいた看護支援が理解している 3. 地域における母子保健・人保健・高齢者保健の理念と施設、保健活動の実際を理解している	○	○												○	
		1. 地域における母子保健・人保健・高齢者保健の理念と施設、保健活動の実際を理解している 2. 地域における母子保健・人保健・高齢者保健の理念に基づいた看護支援が理解している 3. 地域における母子保健・人保健・高齢者保健の理念と施設、保健活動の実際を理解している	○	○												○	
対象別公衆衛生看護活動論	対象の背景段階や健康課題に対応した公衆衛生																

学年	科目名	科目の主題	科目の調査目標	ディプロマポリシーの項目番号														
				O:DP達成のために設定された調査目標と関連性がある ※1つの調査目標に対して最大4個まで														
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
保健医療福祉行政論演習		特定された地域の保健医療福祉計画とその現状を分析して、健康課題解決のための政策提言の実際を学ぶ。		1. 特定された地域の保健医療福祉計画の現状から健康課題を抽出できる					○	○								○
				2. 特定された地域の健康課題解決のための方策を立案できる					○	○								○
				3. 保健医療福祉計画における市民参加の意義を理解している														○
公衆衛生看護学演習		特定された地域の健康の維持増進・疾病予防を目指した公衆衛生看護活動の実際を学ぶ。		1. 特定された地域の地域診断より健康課題を抽出して、その対策を検討できる	○				○									○
				2. 個人とその家族のニーズに応じた家庭訪問指導の計画・実施・評価ができる	○				○									○
				3. 対象のニーズに応じた健康教育を企画・実施・評価できる	○				○									○
公衆衛生看護技術論Ⅰ		公衆衛生看護技術の対象は、個人・家族・集団・地域である。個人・家族・集団の健康問題や看護技術、グループ・地域の看護活動、地域におけるヘルスケアの構築など公衆衛生看護活動の支援技術を理解し、習得する。		1. 公衆衛生看護の対象、支援方法の特性を理解する	○													○
				2. 公衆衛生看護活動の支援技術をもとに家庭訪問・健康相談、健康診査、グループ・地域組織育成のプロセスと支援方法を習得する	○												○	○
				3. 保健・医療・福祉分野の関係性把握・関係整理の現状と連携方法を理解できる	○												○	○
公衆衛生看護技術論Ⅱ		地域の健康問題を分析し、健康ニーズを明らかにし、解決の方針を立てて実施する活動について、コミュニティアクションの方法と公衆衛生看護活動計画、地域組織活動および地域全体のヘルスケアシステムを構築する技法について学ぶ		1. 地域の健康情報や健康問題の把握と分析、保健事業の計画立案、実施、評価方法を理解できる	○				○									○
				2. 地域ケアの向上を目指す地域ケアシステムの技法を理解している	○				○									○
				3. コミュニティの健康増進における公衆衛生活動としての戦略を理解している	○				○									○
公衆衛生看護学実習Ⅰ		学校や企業、健康増進センターで行われている保健活動の体験を通して、学校や産業、健康増進センターにおける保健活動の特性を理解する		1. 学校保健活動の特性を理解する	○											○		○
				2. 産業保健活動の特性を理解する	○											○		○
				3. 健康増進センターにおける保健活動の特性を理解する	○											○		○
公衆衛生看護学実習Ⅱ		地域特性や地域住民の生活を理解し、地域住民の健康の維持増進・疾患予防を目指した公衆衛生看護活動を実践する基礎的能力を養う。		1. 地域診断の過程を理解する	○				○									○
				2. 個人・家族・地域団体の健康ニーズに対応した公衆衛生看護活動の方法・技術を理解する	○													○
				3. 地域ケアンシステムの構築、保健師の役割を理解する	○												○	○
公衆衛生看護学実習Ⅲ		家庭訪問と健康教育など公衆衛生看護技術の実践能力を養う。		1. 個人とその家族のニーズに応じた家庭訪問指導を計画・実施・評価できる	○													○
				2. 対象のニーズに応じた健康教育を企画・実施・評価できる	○												○	○
				3. 個人の課題を団体や地域の課題として考察できる	○				○									○
教職論		教職という仕事の理解と技能を深める		1. 教職という仕事を多面的に理解している	○				○									
				2. 専門的な能力を養きつつ、生徒たちの学びをデザインできる実践的技能を備えている	○													
				3. 教職の専門性に素直に打ち合わせて、総合的に展開できる実践的指導力を備えている	○													
教育原理		教育の理論と実践の関係を把握する		1. 教育の社会的意義と目的を理解している	○													
				2. 教育の思想と歴史を理解している	○													
				3. 初等教育制度・中等教育制度・高等教育制度の社会的機能を理解している	○													
教育心理学		幼児、児童及び生徒の心の発達・学習の過程を理解し、教育現場に生きるよう取得する。		1. 教育心理学で得られた様々な知見を概観し、相互の理解を深めている	○				○									
				2. 教育心理学的に授業評価ができる	○													
				3. その授業評価に基づき、授業計画・授業内容・授業方法について改善策を提案できる	○				○									
教育行政学		教育に関する社会的、制度的または経営的事項について学ぶ		1. 教育に関する社会的、制度的または経営的事項を理解し習得している	○													
				2. 教育制度、教育政策、学校経営に関する理解を深めている	○													
				3. 教育に関するさまざまな問題について深く考えることができる	○													
人権教育		人権に関する基本的な考え方と、さまざまな人権問題について学び、理解し習得する。		1. さまざまな人権問題に関する知識を身につけている	○													
				2. 人権に関する基本的な考え方を知っている	○											○		○
				3. 人権を自らの問題として認識し、考えることができる	○											○		○
特別支援教育		小学校・幼稚園等の教育免許を取得を目指す学生として、特別支援教育の意義、新度の仕組みおよび生後の理解と支援の方針の要素を身につける。		1. 特別支援教育の理念や目標を理解する	○													
				2. 具体的な支援・指導の在り方を検討する														○
				3. 教育支援計画、個別の支援計画、組織的な連携の在り方に理解する														○
教育課程論		教育課程の意義および編成の方法について学ぶ		1. 教育課程・カリキュラム論および力学論について、主要な論点や基礎的知識を理解している	○													
				2. 授業づくりを行う上で必要な構成・内容・方法・評価について基本となる仕組みを知り、教育課程をどうして、授業などのどのように成立させるかを理解している	○													
				3. これから求められる教育課程について各自が問い合わせ直す視点を持っていている					○									
道徳教育の理論と指導法		道徳の基本問題の修得と学校教育における道徳指導の展開を理解する		1. 日本と西欧における道徳教育の歴史を習得している	○													
				2. 学校教育における道徳教育の目標と内容と方法を統一的に理解している	○										○		○	
				3. 実践的に解決したい問題にも、解決方法を模倣し創意する志向性を有している														
特別活動及び総合的な学習の時間		人間形成をめざす特別活動の指導法について習得する		1. 特別活動の意義と今日求められている課題を認識している	○													
				2. 特別活動の指導案を作成し、それに基づいて模擬授業を行うことができる					○									
				3. 模擬授業を行う経験を通じて、授業の場での具体的かつ実践的な教育方法を修得している														
教育方法論(ICT活用を含む)		教育相談(カウンセリング)に関する基礎的な知識を含む。)の理論および方法を理解する		1. 教育方法に関する理論に基づき、授業研究を行うことができる	○					○								
				2. 教育方法に関する理論に基づき、教材研究を行うことができる	○					○								
				3. 学習教材・計画・開発・評価するプロジェクトに取り組むことができる						○								
生徒指導及び進路指導論		生徒指導・進路指導の理論および方法について理解し習得する		1. 個性を持つ生徒一人ひとりを理解できるための基礎的な知識を習得している	○													
				2. 生徒の個々性をふまえながら生徒に対する理解および援助の方法について考へることができる											○		○	
				3. 進路指導の理論と方法を知り、キャリア教育の実践について提案できる														
教育相談		教育相談(カウンセリング)に関する基礎的な知識を含む。)の理論および方法を理解する		1. 教育相談における技法を知っている	○													
				2. 教育相談への理解を深めている														
				3. 学校や家庭といった場合どのように生徒・保護者と関わってゆくかについて各自が具体的に考へることができる														
美術概説		美術教育の5つの職務(保健管理・保健教育・保健相談・保健室)について理解以及実践する。		1. 美術教育の5つの職務について理解している	○													
				2. 美術教師の職務に直接影響を与える教育関係法規について、歴史・(職制の向)上も理解している	○													
				3. 学校の健常実感を踏まえた保健室運営計画を作成し、発達することができる。														
事前・事後指導		事前指導では養護実習の準備を実践的に行い、有意義な養護実習と繋げていく。事後指導では養護実習の体験から抽像化の段階を経る、新たな体験へ繋げる。		1. 养護実習の意義と心構えについて基本的に理解する												○	○	○
				2. 保健教育の方法・技術について実践的に習得する												○		○
				3. 保健管理(健康診断・救急処置・環境衛生検査等)について基礎的な実践力を修得する												○	○	○
美術実習		美術実習では、これまで修得してきた一般教科科目、教職専門科目、美術に関する専門科目等の学習成果を統合させ、学校教育の場で活用・検証以及実践的展開を行っていく。そして、自らの知識や技術の向上を認める。		1. 美術実習に真摯な態度で誠実に取り組むことができる												○		○
				2. 学校保健室勤務および保健実習の職務を執行する一環として捉え、保健室の在り方や実務をより深く理解することができる												○	○	○
				3. 厚生省の「心身・生産の促進及び保健実習の特質を理解し、健康課題に対し対応的および実践的」で実践することができる												○	○	○

